

2011年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座

《講義録3限目》

投稿者：「防災塾・だるま」成松 洋

《講座メインテーマ》

東日本大震災から学ぶ防災(減災)まちづくり

◆開催月日：2011年10月13日(木)

◆開催時間：14:30～16:30

◆開催場所：KU ポートスクエア

◆本日のテーマ◆被災者の叫び！岩手県山田町からの報告

地域全体が失われる切迫した状況で何を考えてどう行動したのか、なぜそうなったのか、講師自身の被災経験やふるさとへの思いを率直に語ってもらい、教訓・課題を提起する。



《ふるさと山田町の3.11被災状況報告》

- ・被災前のふるさとと、巨大津波と火災によって壊滅的な被害を受けた山田町。
- ・破壊された防潮堤、巨大津波の破壊力。
- ・神奈川大学・荏本教授研究室の調査チームへの協力。



巨大津波で破壊された
山田町の防潮堤

《講師》佐々木義雄氏
(岩手県山田町出身、横浜市在住)



《自身の3.11被災体験を語る》

- ・防潮堤へ過信と錯覚、津波警報第一報“3m”に人々はどう反応したか？
……避難した人……避難しなかった人。
- ・轟音で気づいた巨大津波、生死の分岐点、迷い、家族と脱出～避難所へ。
- ・孤立する避難所、食料がない、情報がない～行政への疑問。
- ・火災発生、しかし瓦礫で消防が入れない！
- ・治安の悪化、単独行動でなく顔見知りのグループで行動を。
- ・決断、横浜へ。就職、防災塾・だるまとの出会い。
- ・自衛隊、消防、警察、たくさんのボランティアの方々へ感謝の気持ち。

《受講生のみなさんへ》

- ・“てんでんこ！” ……まず生きること。

《講師》浦辺利広氏

(岩手県山田町で被災、
避難所を経て横浜市へ、現在は横浜市在住)



受講風景

総合司会の
小原茂さんが
本日の講師と
テーマを紹介。

《まとめ》

- 被災体験から学ぶ自助・共助：
 - ・“てんでんこ”……まず生きること。
 - ・避難所での問題(水・食料・物資、そして情報)
 - ・治安の悪化、グループで身を守る。
- 被災状況が示す復興への課題：
 - ・繰り返してはならない防潮堤への過信と錯覚。
 - ・教訓を踏まえた避難所設置基準の見直し。

受講生にとって大きなインパクトのある講義内容をありがとうございました。